

- ◎教育基本法 学校教育法 社会教育法
- 第4期教育振興基本計画
- 第7次山形県教育振興計画
 - 基本目標:ウェルビーイングを目指し、多様性あふれる持続可能な社会の実現を担う山形の人づくり
- 山形市教育振興基本計画
 - 基本理念の主題:郷土を誇りに思い いのちが輝く 人づくり
 - 学校教育の基本理念:「感動」「感謝」「信頼」
- 山形市教育委員会 指導の指針
 - 学校を創る3つの重点と主な取組
 - 1 魅力ある学校づくり
 - 2 安全・安心の学校づくり
 - 3 連携による教育の充実

経営の方針・重点に係る具体的な取組

- 〈学習指導部〉
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくり
 - 子供による自主的・実践的な活動の充実
 - 地域資源や人材を活用した教育活動の展開

- 〈生徒指導部〉
- 自己決定の場の提供と振り返りの充実
 - 一人一人の教育的ニーズを踏まえた指導・支援の充実
 - 安全・安心な生活に向けた安全指導の徹底

※児童数の減少に伴って県費負担教職員数も減少しており、学校規模に応じた校務運営機構に改編し、「学習指導部」「生徒指導部」の2部制とした。各指導部がより組織的に機能するようにする。

＜働き方改革＞

- 職員の意識改革**
 - ・学校として育成を目指す資質・能力や経営方針を明確化し、その目標達成のために真に必要な業務に注力できるようにする。
 - ・各学級の経営計画と人事評価の目標設定を連動させ、教職員の資質向上や学校組織の活性化とともに校務のスリム化・効率化を図る。
- 学校の改革**
 - ・教育課程全体の見直しにより、教材研究や授業準備時間の確保及び業務負担の軽減を図る。
 - ・地域学校協働活動推進員やスクールサポートスタッフとの業務分担を明確化し、職員の事務負担を軽減する。
- 同僚性の構築**
 - ・教科担任制を一部導入し、担当する教科数を削減するとともに、教材研究の負担軽減を図る。
 - ・配慮が必要な児童に対し、複数の教師が目配りできるよう、また、早期に問題等を解決できるよう、日常的に情報を共有する。

【目指す学校像】 誰もが安心して学べる魅力ある学校

自立した学習者の育成

【学校教育目標】	運動大好き	自分・友達大好き	勉強大好き
【目指す子供像】	〈運動大好き〉 〈自分・友達大好き〉 〈勉強大好き〉	健康でたくましく生きぬく子供 自分のよさを知り友達とかかわり合える子供 課題をもち自ら学び続ける子供	

【目指す教師像】 一人一人の子供を大切にし、温かな思いで支え続ける教師

【教育の重点】 学校として育成を目指す資質・能力

〈知識及び技能〉	○身に付けた知識や技能を学習や生活に生かすことができる。
〈思考力、判断力、表現力等〉	○根拠や理由を明確にして、自分の考えを表現することができる。
〈学びに向かう力、人間性等〉	○自ら学習を調整しながら、粘り強く取り組もうとする。

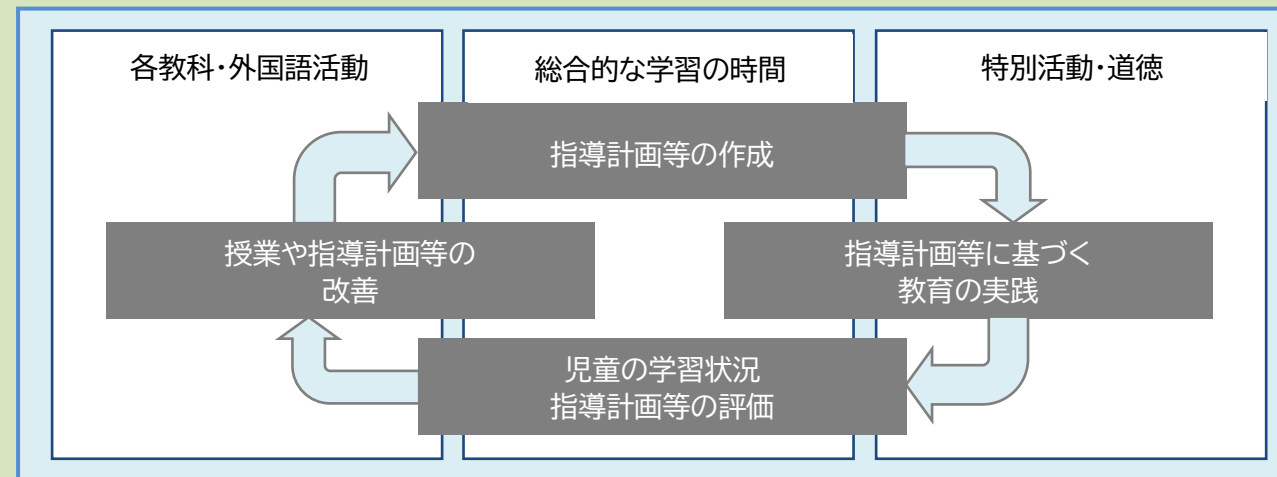
経営の方針

- 一人一人のよさや可能性が生かされる安全・安心な風土を醸成する。
- 関わりを通して多様性を受け入れ、互いに高め合う関係性を構築する。
- 社会との連携・協働による組織的な学校教育を推進する。

経営の重点

- 多様性を重視した一人一人の子供を主語にする教育活動の推進
- 生徒指導の実践上の視点を生かした学習指導の充実
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実の観点からの授業改善

教育課程の編成・実施・評価・改善



社会に開かれた教育課程の実現

- 教育の重点設定理由(学校評価等から見たよさ◎と課題●)
- ◎習得した知識や技能を、教科内に留まらずに他の学習や生活に活用・発揮しようとする子供が育ってきている。
 - ◎互いのよさや違いを受け入れながら、自分らしく、楽しく学校生活を送れていることを実感している子供が多い。
 - ◎保護者や地域との連携を図り、目標を共有しながら協働して子供の育成に取り組むことのできる環境にある。
 - 根拠や理由を明確にして、自分の考えを表現することのできる論理的思考力を更に伸ばしていく必要がある。
 - 失敗を恐れず挑戦し、粘り強く取り組もうとする態度を育んでいく必要がある。
 - 引き続き、望ましい関係性が構築できるよう、全ての教育活動を通して子供の豊かな情操と道徳心を培い、心の通う対人交流能力の素地を養っていく必要がある。

運営協議会

- ◆地域をつなぐ存在としての学校を意識し、「学校」「保護者」「地域」が個々の役割を担って連携・協働して取り組む。

協 議 学校運営の基本方針の承認、学校運営への意見等

熟 議 本校の子供たちがどのような課題を抱えているのかという実態を共有するとともに、地域でどのような子供を育てたいのか、何を実現したいのかという目標・ビジョンを共有する。

協 働 「熟議」の実施を通して学校と地域の信頼関係の基礎を構築した上で、学校運営に地域の人々が「参画」し、共通の目標に向けて「協働」して活動する。

⇒ 地域学校協働活動の実施

教育の重点に係る評価及び検証方法

- 学校評価(児童、保護者、学校関係者による)
 - 自己評価の実施・公表
 - ・目標の達成状況や達成に向けた取組の適切さ等
 - ・評価項目・指標の設定
 - ・改善策の検討
 - 学校関係者評価の実施・公表
 - ⇒教育の質の保証・向上
- 客観的データ
 - 全国学力・学習状況調査
 - Q-U 質問紙調査 等
- 教職員の人事評価
 - ・業績目標の設定・教育の実践・自己評価・業績目標の更新
 - ⇒教職員の資質向上 学校組織の活性化
 - 通知表の内容検討